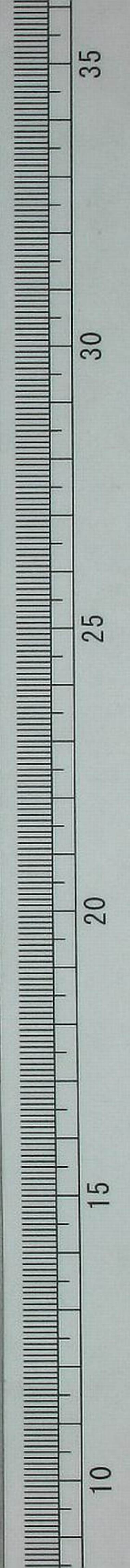


世界國盡
三

柳田文庫
文庫11
A1835
2





阿非利加洲の廣さ
 八千二百九十四萬
 坪人の數六千一百
 萬北の方小ハ歐羅
 巴人の種もあゝ其
 餘ハ大抵黒奴小て
 風倍甚だ陋一國々
 小王といひ帝と唱
 へて支配の君も

世界圖説卷二

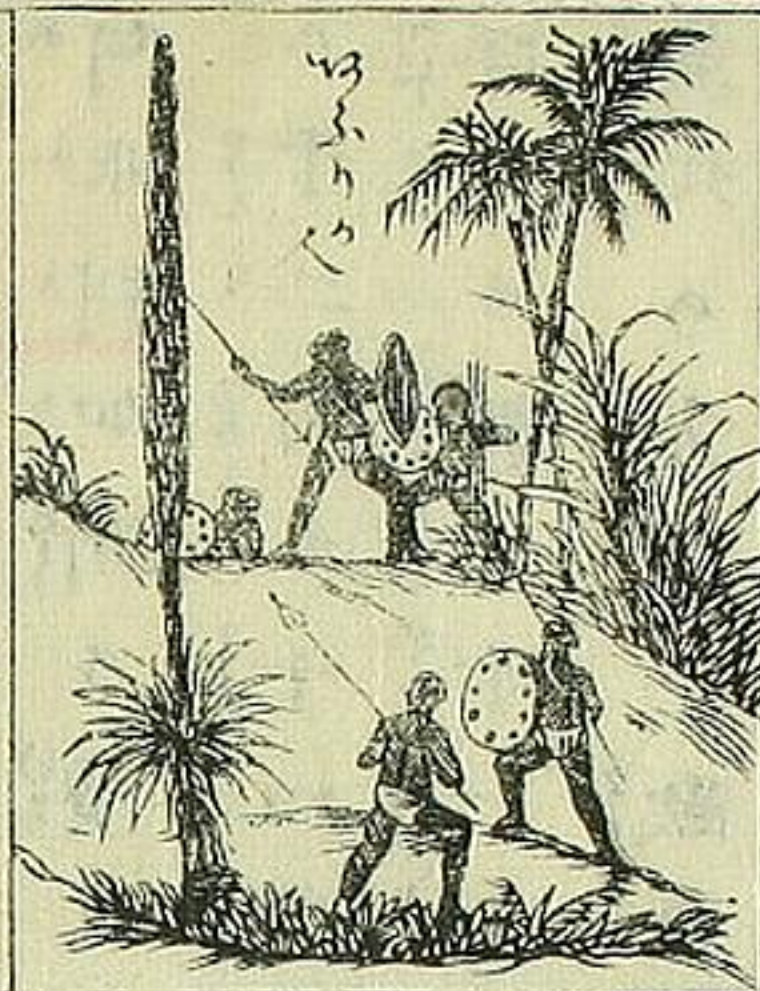
阿非利加洲乃廣大
 北二千三百里西
 東一千三百里
 小女大海の東二萬南



文庫11
 A/835
 2



きども強き者の力
づくふて弱き者を
苦しむる風おれを
争の絶間あしとい



阿非利加ハ四方皆

北の海を二百里
四方は海岸湾曲を
入海稀き少河が
な内地の様は操ら
んと船の往來は後

海まで唯亞細亞洲
へ續く處未洲の
地峽として百里を
この地續ハハ蒸氣
車の路百て一日
不往來をべ一又四
五年前に佛蘭西
人の目論見おて此
地續を掘割て通船

有海海岸は道
西洋人の産物
地を産る人少
少ある人少

の路を開かんとして大抵趣向もつき小舟の通ハ既お出来るよこの堀割弥々成就しあハ歐羅巴より東洋の印度支那等へ航海をる小喜望峰を廻らむして地中海と直不西紅海へいで

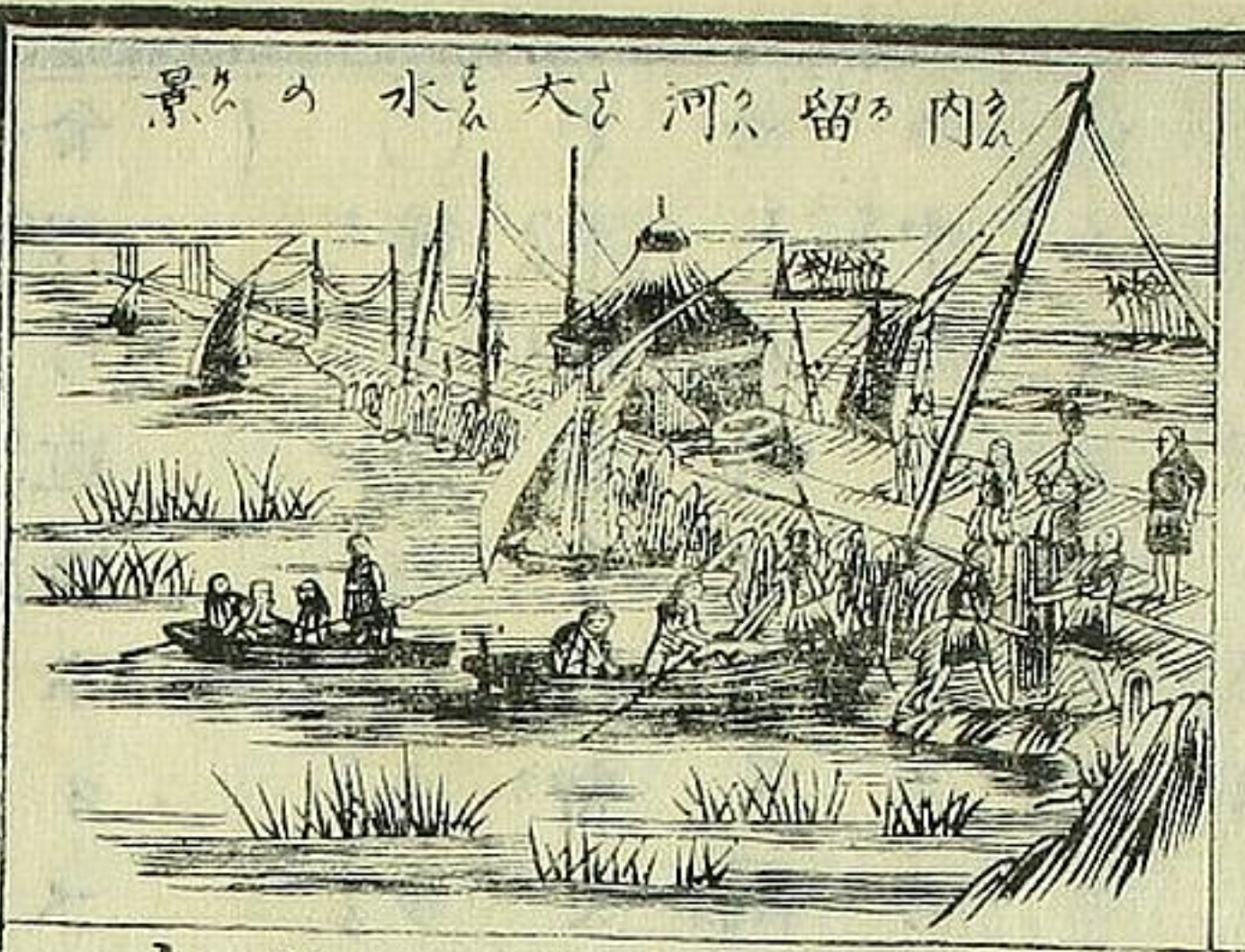
又ハ志らるる技藝云々北と東の數箇國故能きもの一様り善智澤此のフ世界その國

余程の迎路ある

○衛士府都ハ山少く平地あり内留といふ大河有りて國の中央を流すこの濕潤て田畑も登り且折々河の水溢れ其跡ハ却て作物よく出来方中此國

故計るる「無印無海」の事らひある「末海」の西能「衛士府都」ハ「河」の利「一」の「一」國その古る「土」留吉する「支」紀交

の人の大水を以て
豊年の瑞として悦ぶ



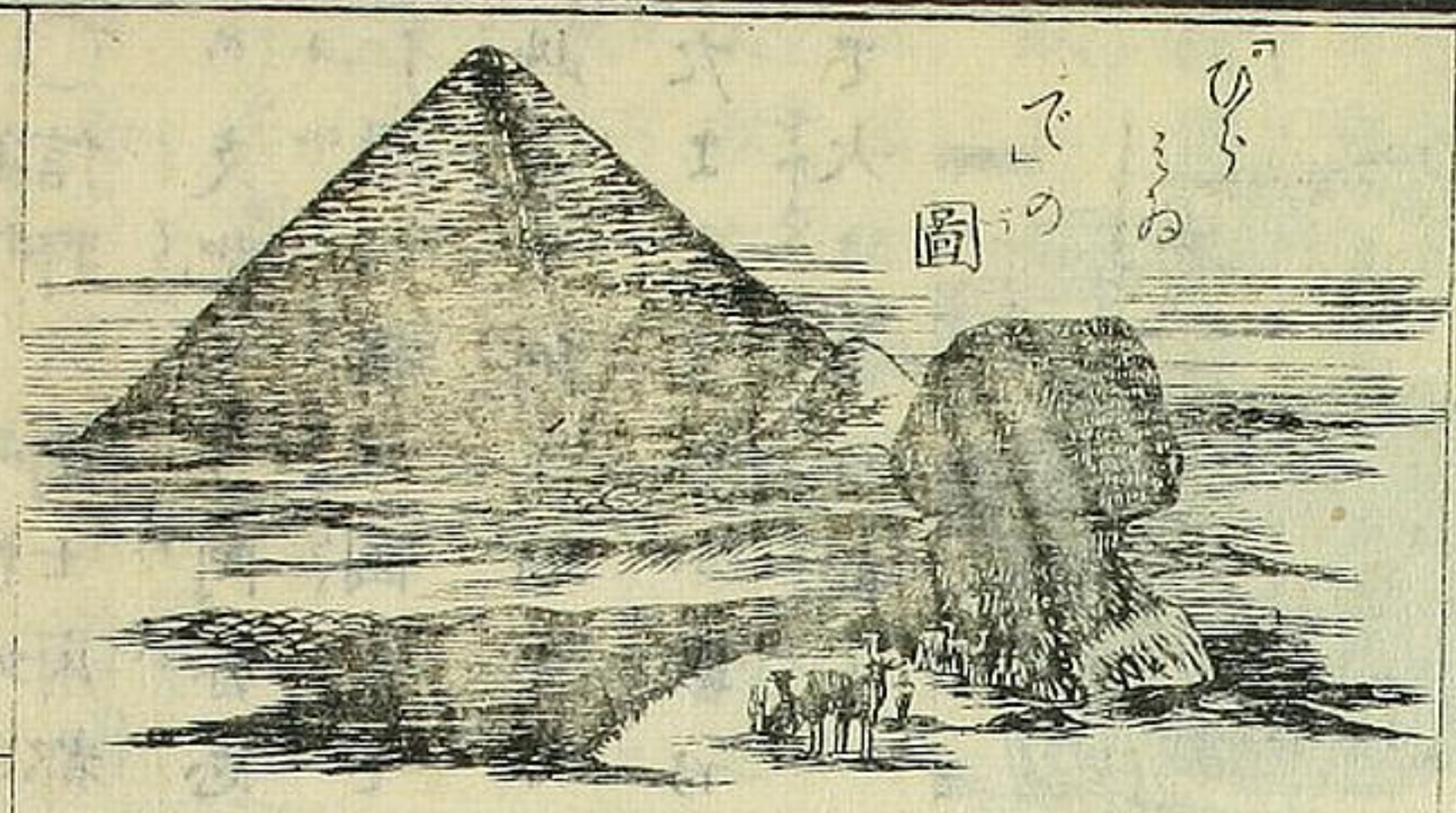
市一土地ありて今
いはれり獨立國と
東海ありて是年
をなす河内留河の
東に海橋ありて府

この邊ハ不思議な
地にして四時とも
雨降らば草木を養
ふものハ夜の露の
時候ハ熱く砂塵
を吹立人の住居ハ
ハ快からば産物ハ
米麥綿畑草の類ハ
衛士府都ハ古き國

都國の首府あり河
の波岸ありて是は
市一土地ありて今
いはれり獨立國と
東海ありて是年
をなす河内留河の
東に海橋ありて府

みて名所舊跡沢山
 かに宮寺あとの跡
 大造りもの多
 比羅三井天の敷
 六七十里其最
 大なるもの八本
 文小いへる通
 高さ四百八十尺世
 の言傳小三千年以
 前國王の墓碑小建

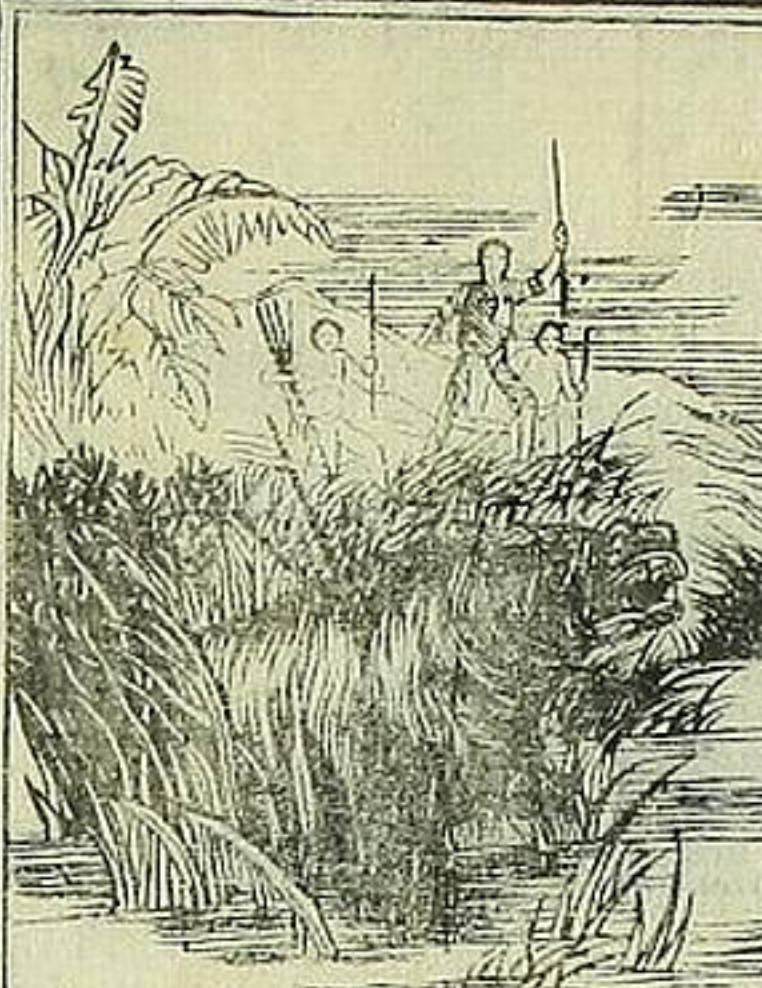
「支那」の系を以て
 聲を起す古
 跡を以て人の強台
 如く田畠を流す
 人々多し



ていものやうと

信聖國の南河
 志は屋西の海
 瀬戸の南東に楚
 森林國印度の海
 尺赤道越え南

○信野ハ衛士府都
 の支配あり阿祿志
 仁屋ハ獨立國あり
 此邊の河ハひんを
 大まきとハふ獸ハ
 大さ象の如し



如る「三義系」と「長山以丘」
 「河洲利加乃」東國物
 「長山以丘」の港より海
 通る「麻田槽」輕「印友」
 海は西方より北より互

○麻田槽輕ハ文化
 年中より歐羅巴の
 諸國と條約を結び
 俄ハ風俗改メ文武
 とハ小盛あり一ガ
 文政十一年其國王
 良多馬ある者王妃
 小毒害せらるるこも
 國中大乱の世
 とあり一時ハ外國

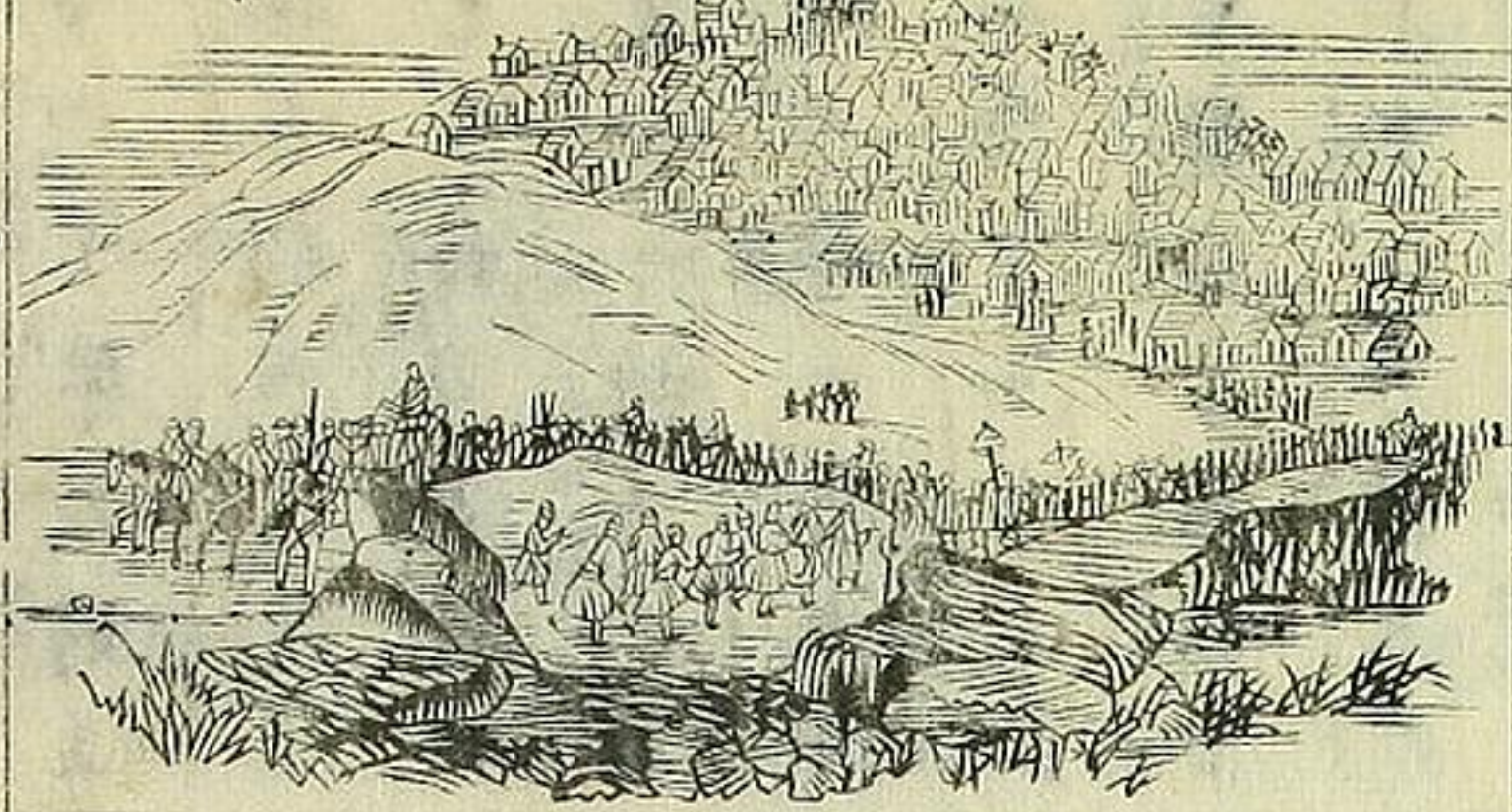
多の島のよる人氏四
 百七十萬西洋人
 とは法外しき音書
 第一「海」なる一國
 以「拜」化し「近」

人を残らば追出
したる近來ハ又々
開國とあり外國の
附合も始りしを
ども以前は較れを
國の威光大に衰へ
しよ〜全く鎖國の
騷動ありしゆハ
國の都を柳奈龍
といふはまう繁花

麻田糟輕乃西南
阿波利加海の陸の
陸西〜廻りは
望峰〜望海を
西海の風〜錨を

ある地ハもろらば

麻田糟輕の都柳奈龍の景

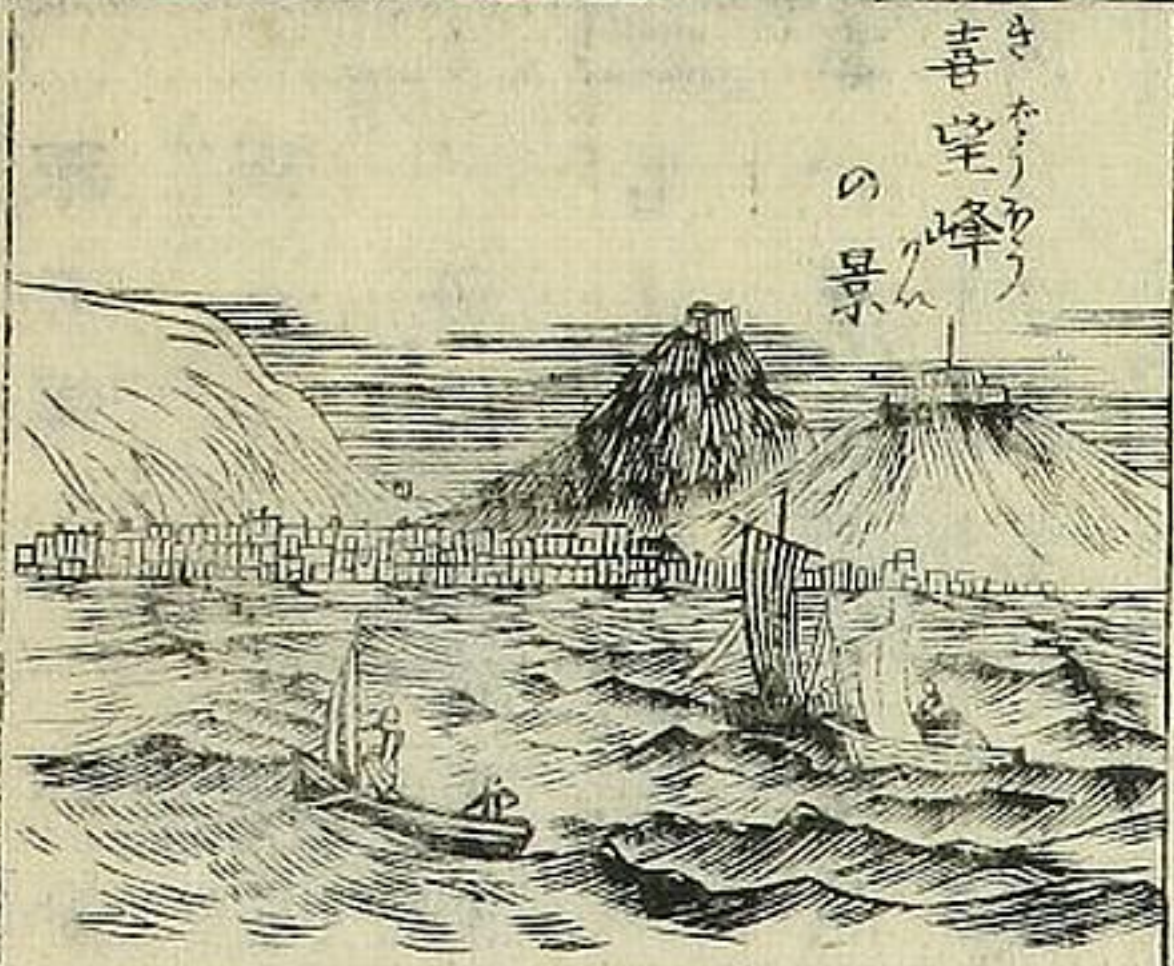


○喜望峯の地ハも

横穀を記章遠をぬ
英吉利印度地
舟〜舟を長江海
路の河多羅海越
志〜石碇

和蘭の領分あり
一が六十年以前より
英吉利の支配と
あまた故に當時も
和蘭人の種多し喜
望峰の港の名をけ
いふたをんといふ
高賣繁昌一産物も
多し南の方幾天戸
地屋の邊に住居も

松行の榭可成しなり
とらんを越えし海を
とる舟子以情成波
なりと名成下しなり
又ちありし人喜望峰



喜望峰の景

る阿非利加人ハ實
小愚おしそ人間
内の下等ありとい

乃西の「葎天」地
屋新部橋上下銀
石「理部利」玉園又
そ乃北の二箇國を志
苗良禮思「漸」松質

○銀名國ハ二分
 南の方を下銀名
 と以北の方を上
 銀名といふ其界不
 おいぜるとして大河
 あり上銀名ハ題
 題ハ英吉利和蘭等
 の領分なりて土地
 の産物砂金又ハ椰
 子の實の油などを

宮「阿非利加」
 西國ハ初「阿非利加」
 様ハ東の國「阿非利加」
 中「阿非利加」
 部「阿非利加」
 利「阿非利加」
 屋「阿非利加」
 阿「阿非利加」
 非「阿非利加」
 利「阿非利加」
 加「阿非利加」
 阿「阿非利加」
 非「阿非利加」
 利「阿非利加」
 加「阿非利加」

積出をよ下銀名
 ハ葡萄牙の領分
 此邊ハ獅子多
 く折々人を害を恐
 るべきことあり



獅子
 人
 食ふ

乃「阿非利加」一種多
 共和政人民ん
 議事院た
 事「阿非利加」北
 利「阿非利加」流行の自由

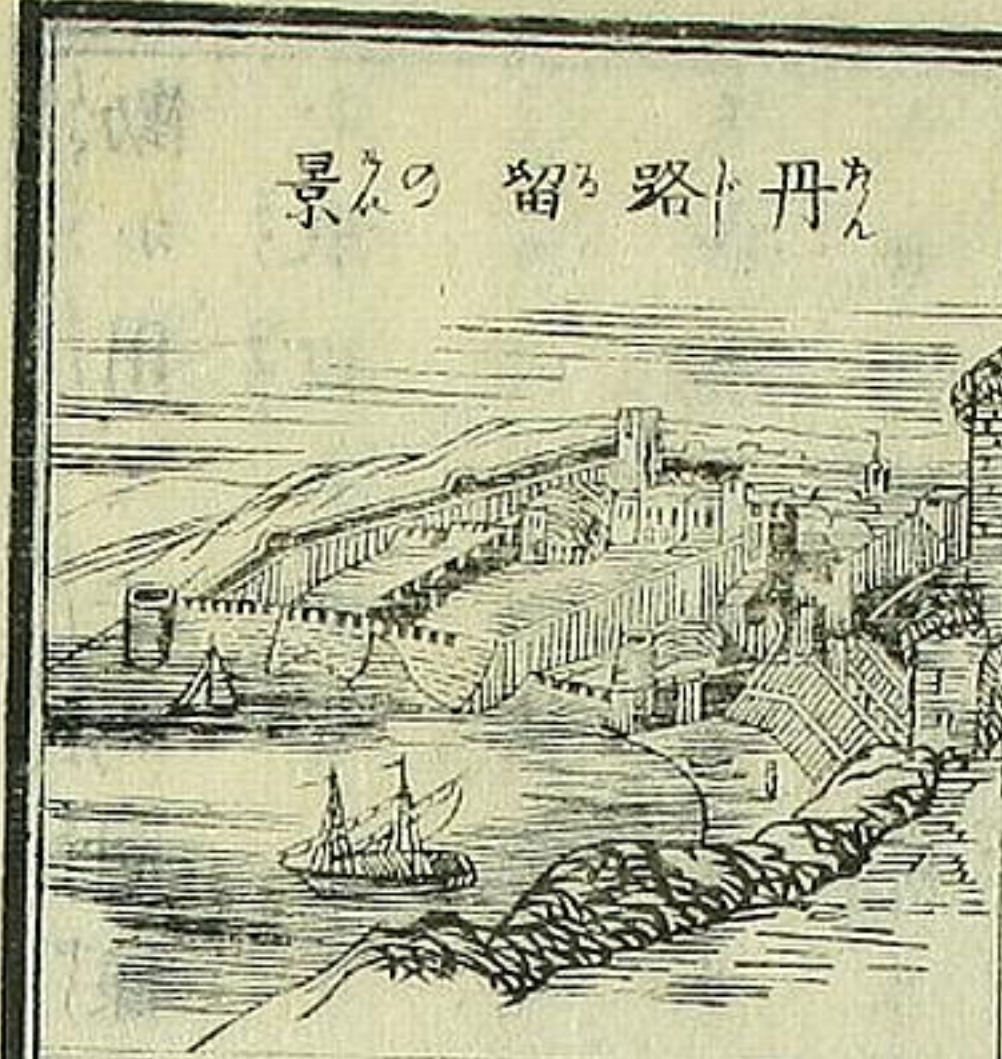
○古來阿非利加ハ
 一ノ風俗流行
 一ノ人を賣買する
 ことアリこれを
 色いぶといふを
 いぶといふ生涯買切
 の奉公人といふこ
 とあり亞米利加
 一ノハ夥しくその
 人を買込も田畑の

此風俗福キ一冬暗
 き宙來一一點の星
 ノ懼く如くなる地
 未もらる一西一
 中海ノ山峯ハ此を先

勸不用て牛馬同様
 一取扱ふ風習あり
 一が心づくる人ハこ
 色を憐れ救んとす
 一者も亦多一即ち
 理部利屋國ハ亞米
 利加ハ志づる人
 の申合ふて建たる
 國あり近來るこ
 一たりの賣買も

百國ハ總名を北河
 北利加ノ馬留島里
 伊予一北端あり
 祿子あり阿北利加
 一の帝國名アリ

大不減トたる
○茂祿子の港丹路
留ハ治部良留多雷
瀬戸ハ臨ミ西班
牙國ト對岸あり

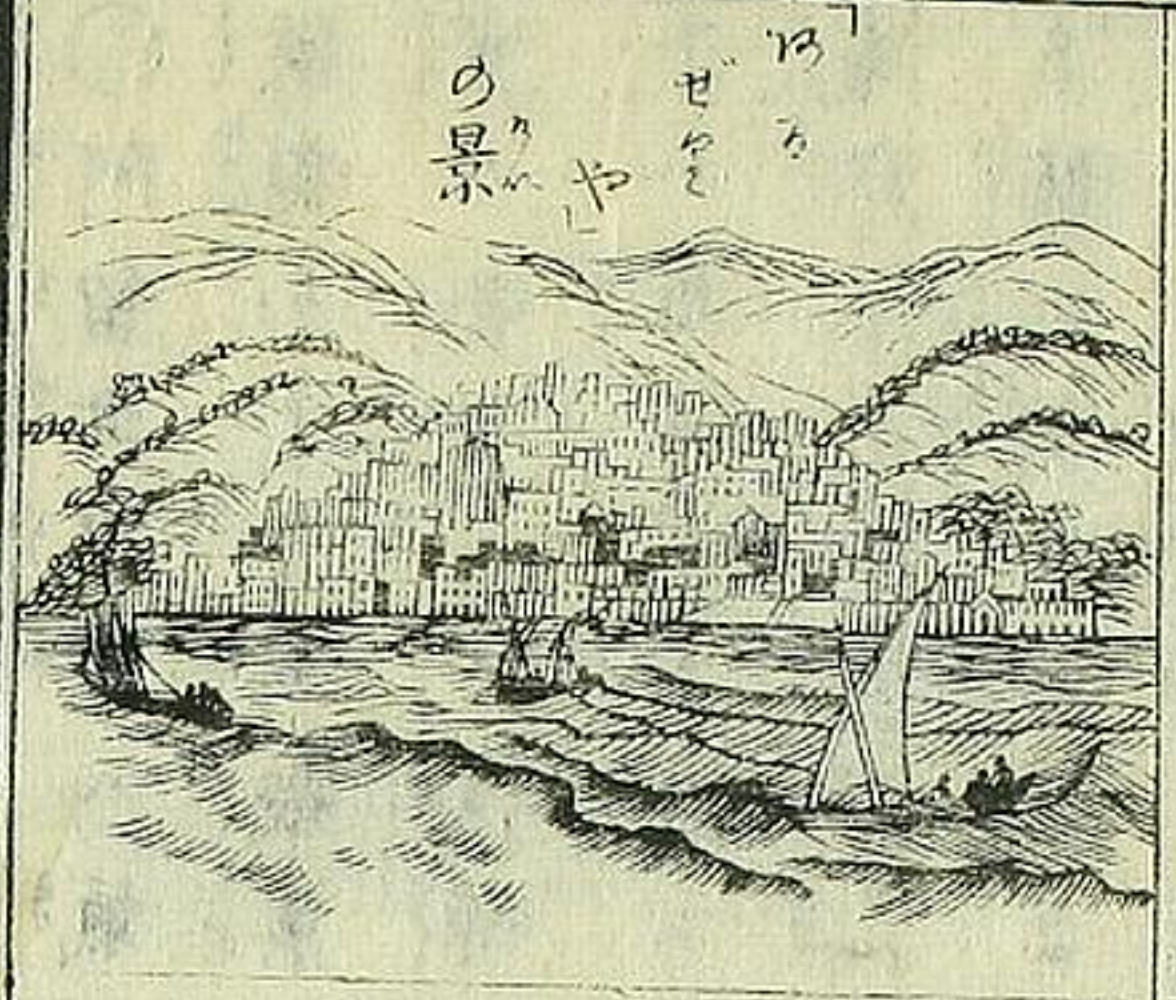


穀ノ味紀
天乃惠ハ濃ク
吾以政事ト以務
農以勤ト以
若ク耶一東

○阿留世里屋ハ氣
候穏ホ一ト五穀菓
實の登ること茂祿
子ハ劣らば其都ハ
海岸より小高き山
の麓ハ開テ風景よ
シ四五十年前ハ此
邊ハ海賊多く諸國
の船を悩セリ我文
化年中亞米利加之

隣ハ阿留世里屋
人口二百五十萬
以青々トシテ四十
佛茶東西國ト以
乃ハ色不羅獨立

軍艦これかため小
阿留世里屋を攻て
六萬どるらるの償
を取一ことりり



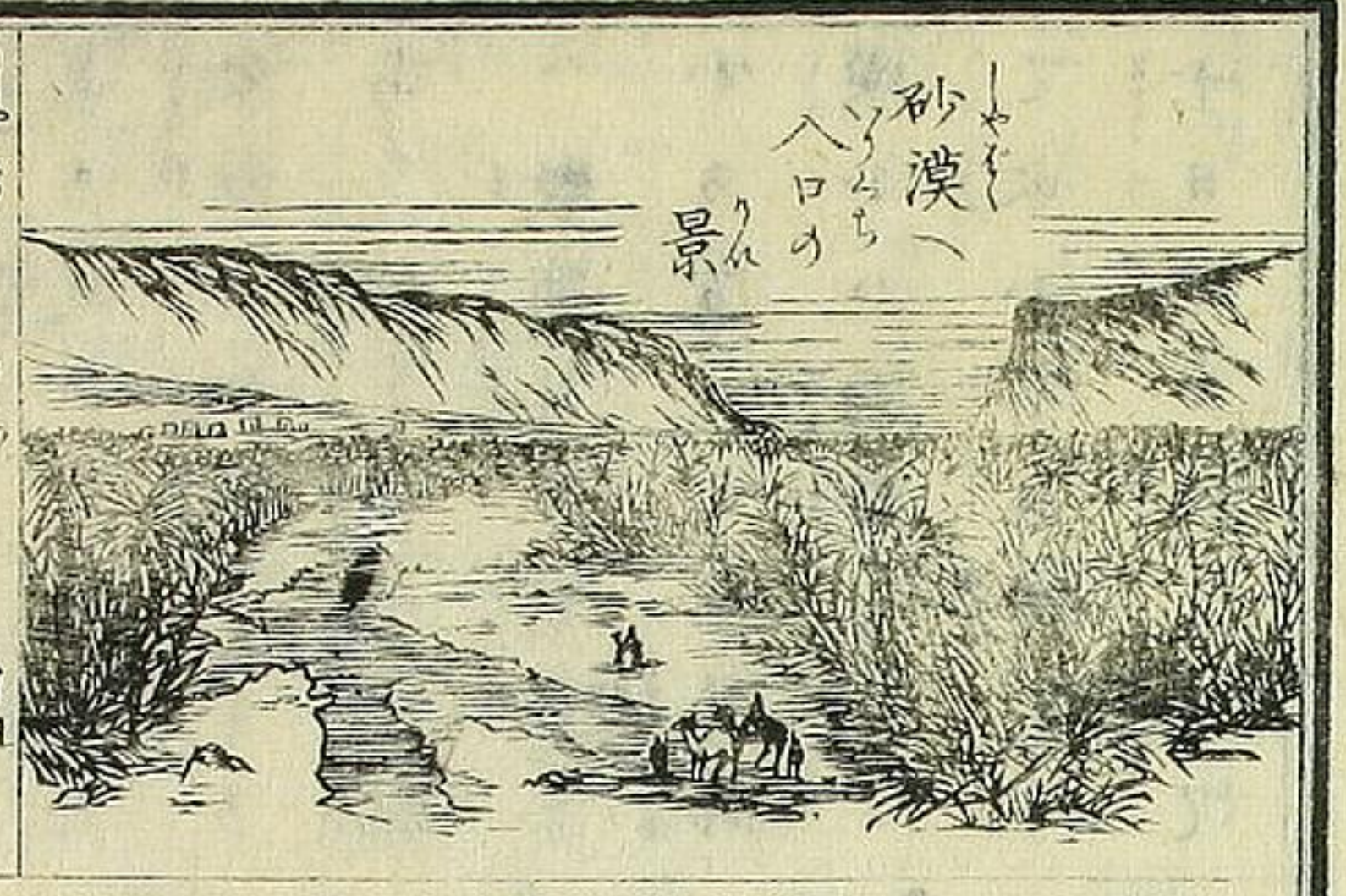
のふえ絶えし佛
すまをさるし総奉
行に以てるら
威も格く兵士軍
艦数に白く二百餘

○戸仁須戸里坂等
の諸國の内にて戸
仁須の人はよく農
業を勤り且此國小
ハ五穀綿烟草等の
外小銀銅鉛水銀の
産物ゆき戸里堀の
人ハ専ら常食ハセ
て都て荒火屋邊よ
り阿非利加の海岸

美以人民を佛業
西帝の権風は佛
了麻くをの紫以主
う水も東御寺厨
都の関しな

ハ東の多き夏あり
 ○阿非利加の内地
 ハ西洋人の詮索ハ
 もいさぐ委しく分
 らむ越尾比屋あど
 の人ハ最も教あく
 しく人情甚だ粗
 おやむくといふ夏
 の黒奴ハ人を殺て
 肉を喰ふ

王 名 戸 仁 次 戸 里
 堀 馬 笛 加 國
 南 山 國 大 略
 回 夷 狄 人 表
 去 留 吉 尔 從 了 名 あり



ハ山ハ草の茂るた
 砂漠の内ハ稀ハ

砂漠ハ
 入口の
 景

わく 實を記す
 阿非利加の内地
 の様ハ知る人ハ大
 染に在る國境南
 越尾比屋

るおを譬へバ大海
小嶋の如く如く往
来の人ハこの草を
駱駝の飼料とする
あゝ但一人の食物
ハ數箇月の用意が
かるる程うらま又砂
漠ハ雨降らざり
て水ハ不自由あり
十日路も行て始て

「宗師小」
「佐東の系」といふ
者世界中心の大砂
漠東西一万余里
南北凡四百餘里樹

湧泉不出逢ふ位の
ことあるバ飲水の
所もなきて叶はぬ
ことあり頃々我文
化二年又當り阿非
利加の人二千駱
駝千八百疋を引て
沙漠を渡り小折
り水も乏る惠小
行逢せむて残ら

「宗師小」
「佐東の系」といふ
者世界中心の大砂
漠東西一万余里
南北凡四百餘里樹

を湯死たることり

○麻寺ハ小島

ども山水の風景甚

だう産物ハ葡萄

酒あり氣候ハ春夏

秋冬大抵同様

病人あどり養生所

小宜一加奈利屋ハ

西班牙の領分あり

渡りしを砂漠

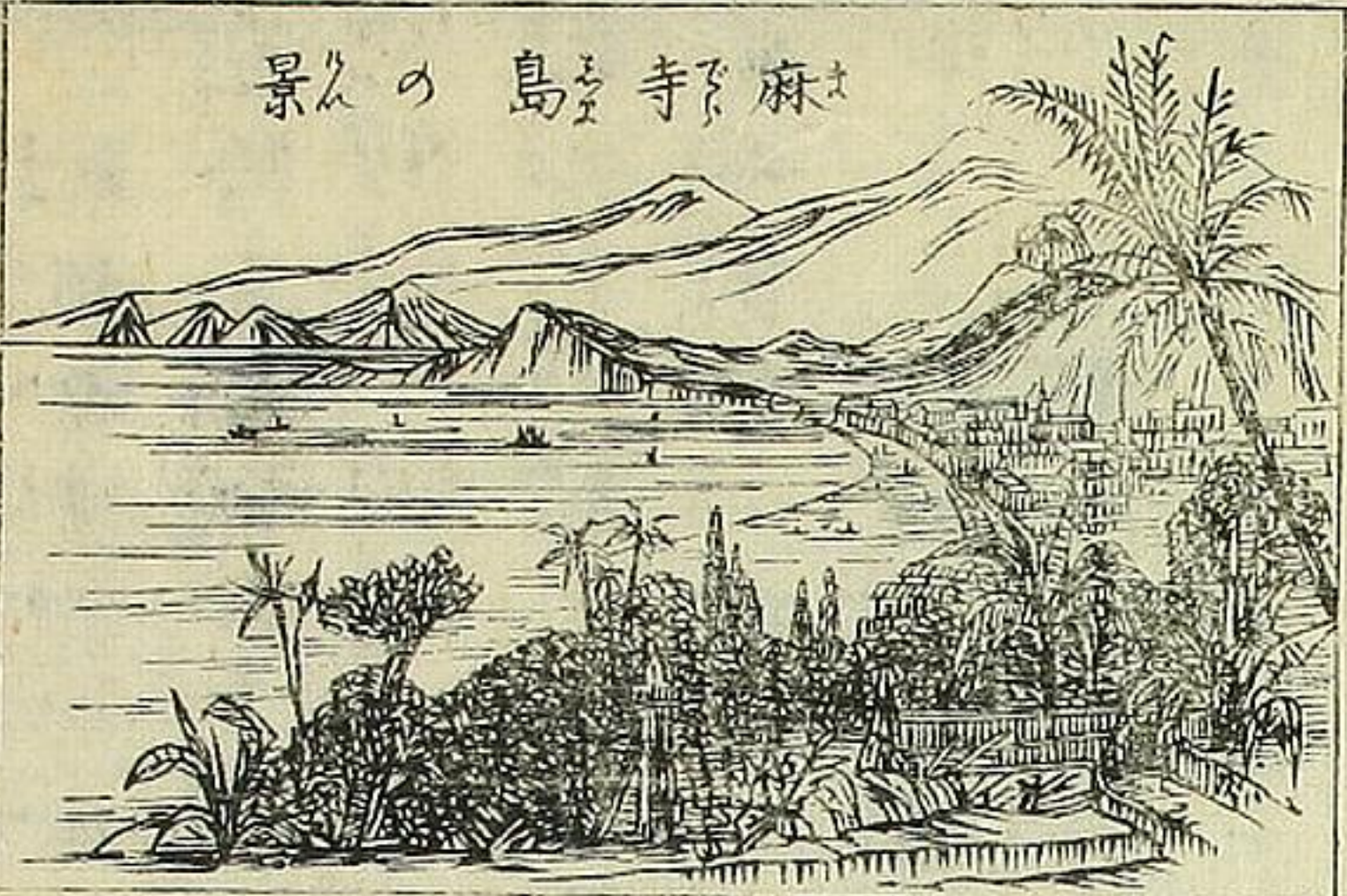
其を平水の海

出せる麻寺

支配を葡萄

葡の葉

その模様ハ大抵麻寺



名高き地ハ

地乃麻寺

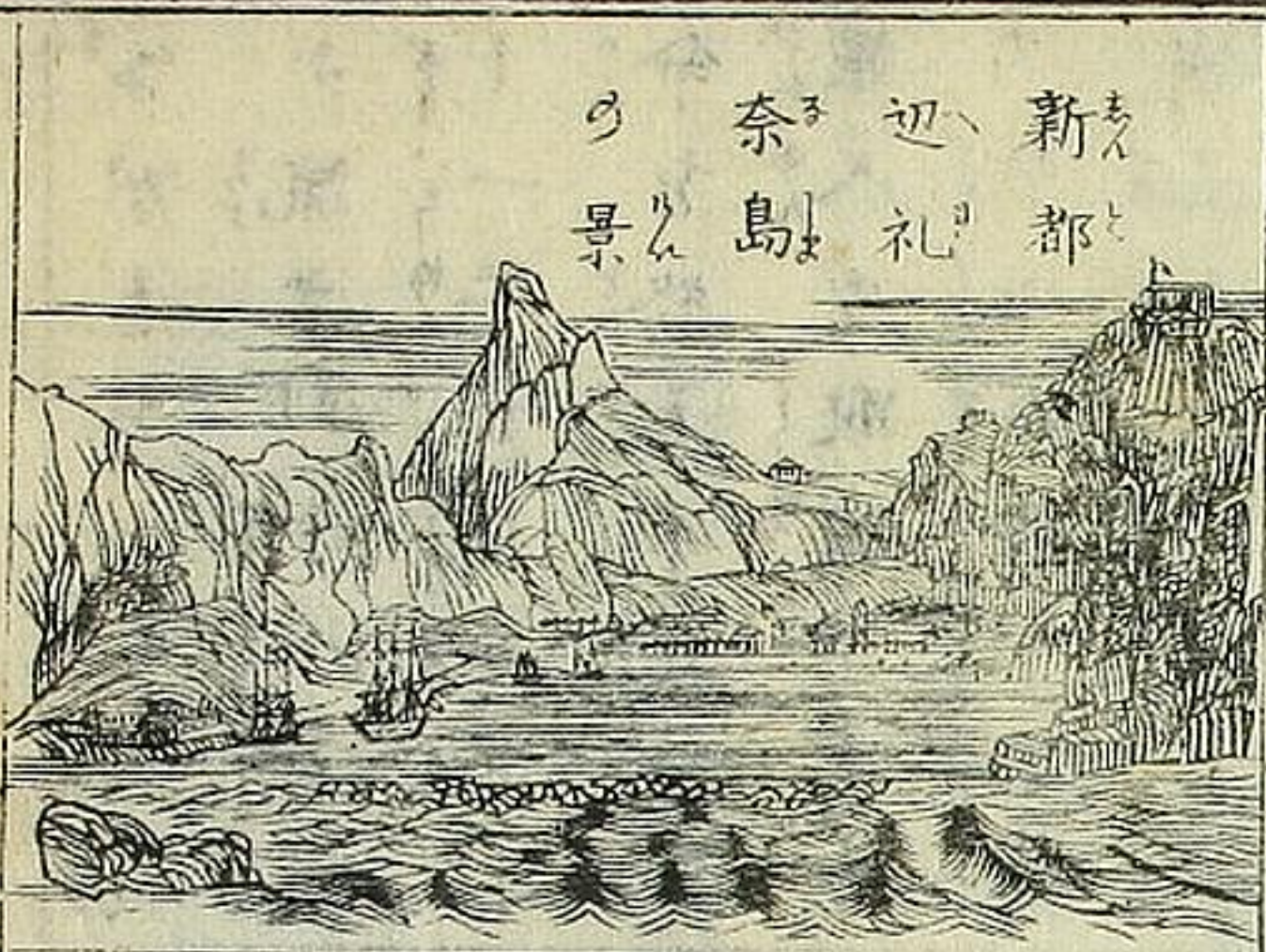
麻寺

人麻寺

麻寺

○新都邊禮奈ハ英吉利の領分あり千七百十五年即ち我文化十二年の頃佛蘭西帝第一世が不レをレ和阿戸留樓といふ處小をわて英吉利の將軍あるとんとんと戦ふて敗北し此島を流さ

の里まの北場一峰
 多るれ教四河一
 春の色少鳥の
 の石え少の
 河まの西の廻輪留



新 都 邊 禮 奈
 島 景

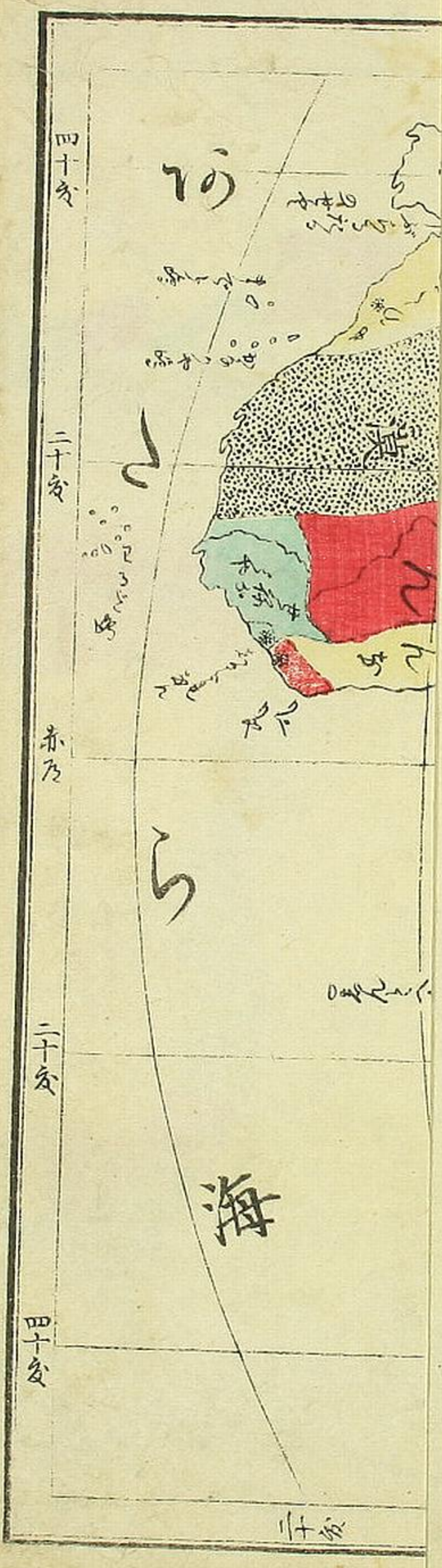
きて生涯を終きり
 ととる色嶋の評判
 世小

田嶋輪多田以南一
 淋一記新都邊禮
 奈嶋一石所
 多るれ教四河一
 春の色少鳥の
 の石え少の
 河まの西の廻輪留

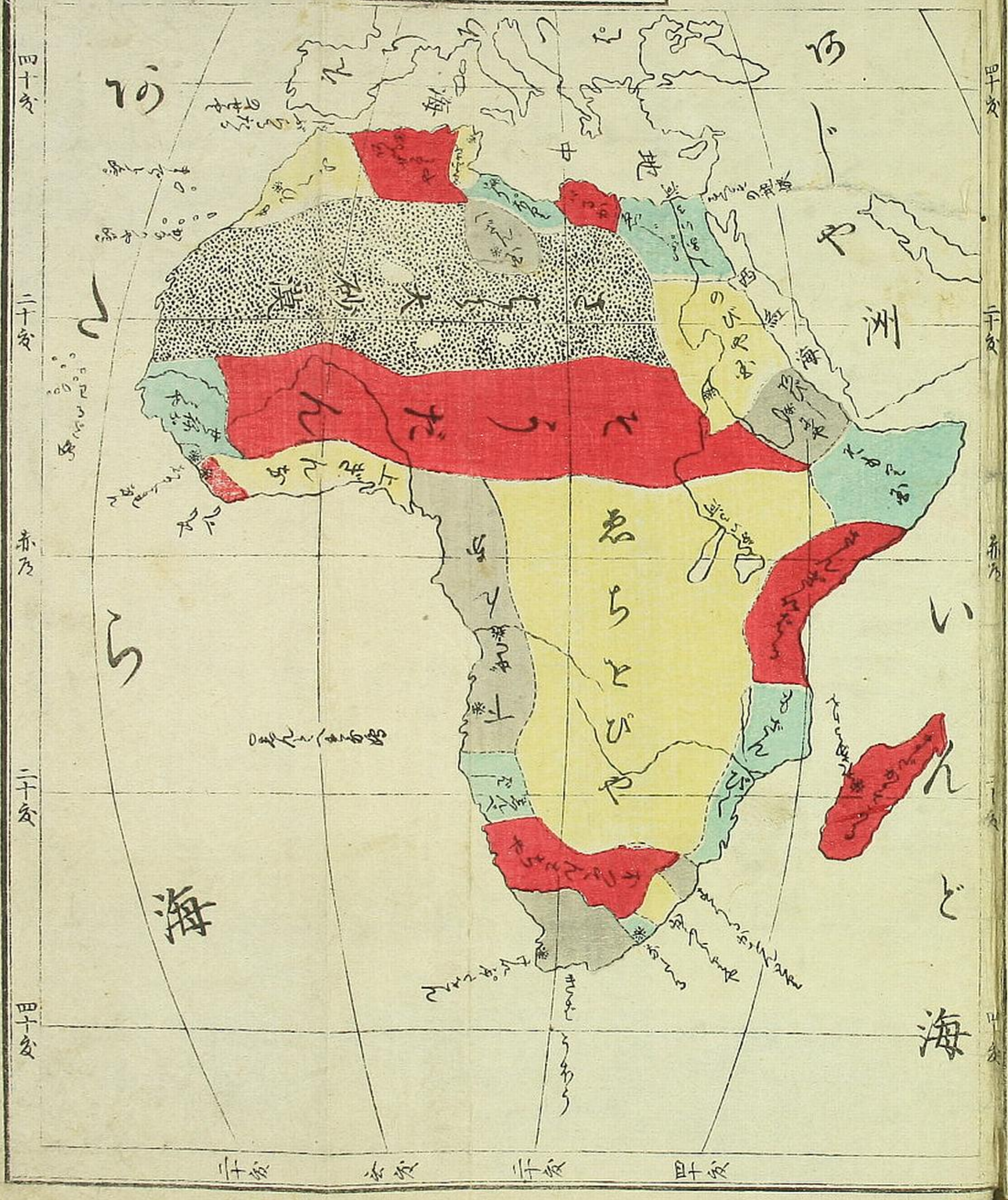
十六卷

一、改葬
 本國の都巴里斯
 大造ある禮式小
 蘭西人の心願小由
 千八百四十年佛
 罪人の取扱あり
 命を終え死後
 十一年五月五日
 小流され千八百二
 一、改葬

阿戸留樓の幾小運
 弁存く亦欠し流
 罪となりし由來よ
 嶋の名譽も力に
 孝



阿非利加洲



罪人の取柄
 千八百四十
 蘭西人の心願
 大造ある禮式
 本國の都巴理斯
 改葬せしむ

罪よりなりし由來より
 嶋の名譽を力に
 女子

010190533927

